



安知果穂沢市六角堂
東町一丁目3番地6
社会福祉法人
薫風会



高齢者社会の 創設にむけて

高齢者を地域の

活力として



社会福祉法人 薫風会
理事長
佐藤 和夫

九月十五日は老人の日、九月十八日は敬老の日と同じ表現の日が続くことになっている。新聞報道によると、二〇〇六年九月十五日総務省が発表した推計人口によると、六十五歳以上の高齢者は二六四〇万人で総人口（一億二七七二万人）の二〇・七%、昨年より八三万人増え、人口比率ともに過去最高を更新しました。このうち男性は一・二〇万人（男性人口の一八・〇%）、女性は一五二〇万人（女性人口の二三・二%）と女性は四〇〇万人多い。また後期高齢者といわれる七五歳以上の人口は一二〇八万人で総人口の九・五%に達した。間もなく総人口の一〇%に近づいています。

昨年の労働力調査によると、六五歳以上の方が働いている人は四九五万人で就業率は一九・四%であり、米国の一四・五%、イギリスの六・三%などを上回っています。

この度の敬老の日に、一〇〇歳を超える方は、全国で二万八〇〇〇人になっている。一世紀以上も生きた大先輩にあらためて敬意を表し、長寿をお祝いしたい。寿命が長くなることはもちろん、喜ぶべきことだ。問題は、現在そして未来の日本が「長寿は幸福」と言いされる社会を作らねばならないと考えます。

高齢化率も上昇を続け、二〇二五年には三〇%前後になる中で、高齢者の社会貢献に対する期待が高まっている。しかし、実際に「高齢者のイメージ」を尋ねると、心身の衰え、社会活動からの引退という印象が根強く、二〇〇三年に実施した意識調査でも「経験や知恵が豊か」「時間にしばられない、好きなことに取り組める」ことを評価する一方で社会の貢献については、あまり高齢者のイメージに則していない傾向が見られます。

「国民生活基礎調査」によると六五歳以上の要介護状態（虚弱者含む）の発生率はおよそ五%と推計されており、

約九五%は心身の自立した元気な高齢者といえる。このような元気高齢者は介護予防により、社会参加の機会を確保する様々な施策が必要と考えます。間もなく団塊の世代の一〇九二万人の方が六〇歳の定年を迎え始めます。この方達の「団塊のパワー」は地域社会を支える大きな原動力になることは間違いありません。高齢者の方々が自己実現、社会参加として、地域のニーズを満たすことにより、収入を可能にする事業を提供することにより、地域社会の活性化につながる大きな要素と考えます。

一方では、介護を必要とされる高齢者いわゆる「老年症候群」の対応にむけて包括的な対策が必要であり、私達福祉施設職員は、要支援・要介護者のニーズに応えつつ、生活機能の自立を支援することが求められている。私達の責務は大きく介護力には究極はありません。

孟子に面白い話があります。稲が早く育つようにと、ある農民が稲の茎を引張って伸びるのを助けようとしたところ、根が浮いて枯れてしまいました。私達はこうしたことをするのではなく、自分の労働で自分の生活を作品にする、それが他人を思う心ではないでしょうか。

介護保険制度に思う

丹下史朗

介護保険制度が始まって七年目に入っています。

措置費時代にできた特別養護老人ホームの制度を基に今日の介護保険制度ができました。

平成十二年四月に始まった介護保険制度は当初、介護度1以上であれば誰でも利用できることが、多くの利用者には理解されず、措置対象者しか利用できないという考えが一般的であり、老人ホームを利用することは、近所、隣を気にしてなかなか利用できない人が多くみえました。介護保険制度が始まって、三年目からは、介護度があれば誰でも利用できることが普及して、特別養護老人ホームの利用者も多くなり、待機者が増大し、特別養護老人ホーム等老人福祉施設の不足が言われるようになりました。三年前の改正頃からは、特別養護老人ホームの入所者は、介護度の高い人、介護する人が、ない人を優先にするよう指針があり、入所希望があってもなかなか入所できない

状態がつづいています。

近年になって老人福祉施設の新設が多くなっています。

今年度四月の制度改正で介護報酬の改訂は複雑で施設や利用者にとって難しい制度となっています。

新介護報酬の概要の主なものは

- 一 介護報酬改定で、多床室と個室の単価の改定 特に個室の居住費がアップされた。
- 二 特養ホームの機能訓練加算・栄養ケアマネ加算
- 三 介護予防通所介護 デイ中心の介護予防の確立として ①基本単位導入 ②運動機能向上加算 ③栄養改善加算 ④口腔機能向上加算 ⑤アクティビティ加算
- 四 居宅介護支援 基本単位の標準担当件数による通減制の導入等
- 五 地域密着型サービス ①小規模多機能型居宅介護 ②グループホーム ③地域密着型介護老人福祉施設等

非常にわかりにくく多様な内容の制度が短期間の内に施行された、この改定で現場は試行錯誤しながら半年が過ぎました。

厚生労働省は現場の実態を十分に把

握しないまま有識者と一度の現場の意見を聞いただけで改定したとしか思えない。困るのは関係機関と施設そして利用者である。

日本の福祉行政は常に行き当たりばつたりが多い。介護保険制度で言えば介護保険を支払っている人で、介護が必要になれば誰でも平等に同じ支援を受けることができることが、介護保険を納める主旨である。しかし、今の制度では、在宅で家族や個人での介護には援助は全く無に等しい。しかも介護を受ける人は年々増加するばかりでありしかも保険料は増加するばかりである。今日問題になっていることは、国民年金保険料・国民健康保険料未払いと健康保険財政の赤字、これらの問題を早く解決しなくては安心して生活をすることができない。

今日政治問題になっていることに、消費税の目的税による税制改正がある。税率が二〇%以上になっても早く導入すべきである。介護保険料、国民年金保険料、健康保険料を全て消費税で賄えば、これを利用する全ての国民は、平等に支援や支給が受けられ福祉目的税により、安心で快適な明るい福祉社会を育ててほしい。

日帰り旅行



去る六月二十一日名古屋港水族館へ日帰り旅行に出かけました。当日は、透き通るような晴天に恵まれ、汗ばむような陽気の中、出発することができました。行きの車内では、パンフレットをみながら盛りあがりました。又、名古屋駅や御園座をみて、昔話にも花が咲きました。

水族館に到着し、まずレストラにて昼食を頂きました。大きな水槽の前で魚を觀賞しながら頂くランチは、ファミリィにとって特別美味しかったのではないのでしょうか。

腹ごしらえした所でいよいよ館内散策です。二つのグループに分かれ、ペンギンコーナーから順に見学していき

ました。中でもファミリィが一番喜ばれたのは、野外プールで行われたイルカとシャチのショーです。イルカが芸をする度に大きな拍手と歓声があがりました。又、音楽に合わせてイルカが泳ぎだすと、自然と手拍子をされる姿もみられました。

あつという間の一日でしたが、楽しんで頂け、とてもよかったです。



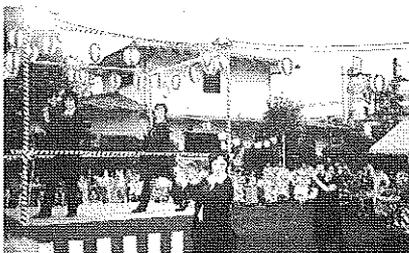
盆踊り大会

八月五日に毎年恒例の大和の里、盆踊り大会が盛大に行なわれました。事前に館内にポスターを貼り出し、ボランティアの皆様による事前の盆踊りの練習も行なわれ、ファミリィの気分も最高に盛り上がったのスタートです。

お化粧をし、浴衣に着替え、家族の来所を今かと心待ちにし、家族の方がみえた時のファミリィの嬉しそうな表情は格別です。夕食のメニューも豊富で

何から食べようかと目移りしてしまいました。中にはビールを飲んで顔を赤くし、満面の笑顔で会話される姿もみられました。お腹が一杯になったところでいよいよ待ちに待った盆踊り大会の始まりです。少し汗ばむ天気でしたが、元氣な太鼓の音と音楽で、ついつい体が動き、暑さも吹き飛んでしまいます。輪になって踊る人、その周りで見学の人、皆がそれぞれ楽しく過ごされました。途中アイスクリーム休憩をとりながら職員によるダンスの御披露目もあり、ビシッとスーツ姿の職員の踊りに、ファミリィの目もキラキラしていました。いよいよ大会も終りに近づき、花火大会の始まりです。中でもナイアガラの滝はオウーという歓声と拍手が沸き上がりました。これからも夏の思い出として、職員一同さ

らに盛り上げて、ファミリィと一緒に踊れる日を楽しみにしています。



一宮七夕まつり見学

去る七月二十七・二十八日に一宮の七夕まつりへ出掛けました。当日は天候にも恵まれ、七夕まつりの開催されている商店街を通り、真清田神社に向かいました。商店街では様々な七夕の飾りがありファミリーの皆様は真剣にその飾りを見て喜ぶ姿が印象的でした。商店街では出店などもあり、ファミリーから「あれ食べたいね」と話す姿もあり、楽しんで頂けたと思います。真清田神社にてお参りをした後、出店にて食べたい物を選んでもらい、かき氷やイカ焼きなどを食べました。

参加したファミリーにも笑顔が多く見られ、商店街周辺の華やかな飾りを見て、「また来年も是非来たらいいね」と話して下さいました。是非来年も出掛けたいと思います。



すいか割り大会

八月十一日、毎年恒例のすいか割り大会が行われました。「一番手に割りたい方はいませんか」との司会の声に誰も手を上げられなかったものの、最初のファミリーが勢いよくすいかを割ると次からは順番を待ちきれず準備される姿もみられました。片麻痺でも片手で真つすぐ棒を振り下ろし、みごと命中、真つ二つに割られる方もみえ、多盛り上がりです。他のファミリーの「右！右」「もう少し左」との声に、目隠ししている方も真剣そのものです。中から真つ赤な実が顔を覗かせると、拍手がわき起こり、とても賑やかな雰囲気のうちにと終了となりました。その後、すいかやジュースがおやつとして出され、皆さん満足そうに召し上がられました。



ラッキーサウンドブラス訪問

昨年続き、今年も八月十九日に「ラッキーサウンドブラス」が素敵な音楽を携えて大和の里に来て下さいました。「ラッキーサウンドブラス」は、全国大会出場の実力が有る、木曾川高校ブラスバンド部OBで結成されており、ファミリーの皆様は、その演奏を心待ちにされていました。

「聖者の行進」での入場後、「高校三年生」、「青い山脈」と続き、途中イントロクイズを交えて、「りんごの唄」。そしてフィナーレは「明日があるさ」と、時間が経つにつれ、盛り上がり、お礼の挨拶の最中、アンコールの手拍子が沸き上がる程でした。

笑顔あり、涙あり、歌ありの楽しいひとときを過ごして頂けたと思います。



夏祭り

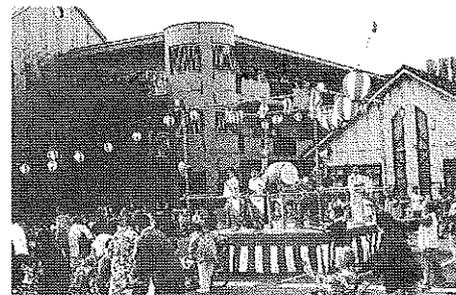
去る八月二十六日、第二大和の里毎年恒例、一年で最大イベントである夏祭りが開催されました。

ファミリーの皆様は昼食後より順に浴衣へと着替えられ、初め“浴衣なんて”と遠慮された方も浴衣に袖を通すと笑顔がみられ、“似合うかしら”と嬉しそうに話されました。



受付開始よりぞくぞくとファミリーの御家族が来訪され、ファミリーの元へと向かわれました。“私の家の者は来るかしら”と心配されていた方も御家族の顔を見ると“ホッ”と安心し、楽しそうに会話をされながら会場へと向かわれました。夏祭り開会の式典が食堂にて行なわれた後、皆様お待ちかねの食事会となりました。食事は厨房職員が腕を振るい、ミニちらし寿司、豚汁、お好み焼きなど、十四種類ものメニューと、ポランティアの方による、五平餅、ねぎま、ポップコーンが屋台に並びました。屋台の香ばしい香りに誘われ手を伸ばし、両手いっぱいになり好みの料理を持ち寄り、美味しそうに食べられない方も“美味しくて食べ過ぎちゃう”と嬉しそうに話していました。

食事後は駐車場にてメインイベントである盆踊りが行われました。会場にはやぐらが組まれその周りを皆が囲みオープンングの「きよしのズンドコ節」がかかると、手拍子をされる方、手動かし踊る方が徐々に増え、稲沢音頭、炭坑節：と曲が流れ、太鼓がひびくと踊りの輪も大きくなっていききました。

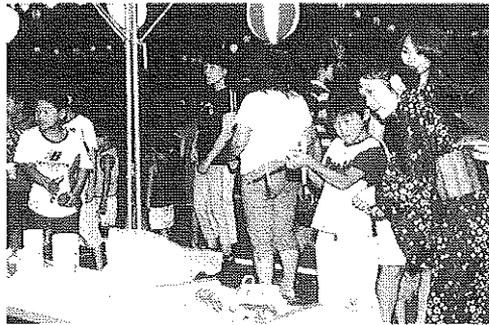


表情をされていました。普段居室で休むことの多い方に疲れていないか声を掛けると笑顔で“大丈夫”と答えて下さいました。その表情はいきいきとしており、疲れるところか元気に踊りに参加されました。

踊りの輪に参加されず、輪の外で観てた方に誘いすると、笑顔で“少しだけ踊りに行こうか”と、笑顔で参加されたいました。“久しぶり踊ったわ”とすっきりとした



「つちよれ」を力を込め踊りました。迫力ある踊りに皆が踊りに見入り、最後には大きな拍手を頂きました。



踊り続け第一部が終了し、一休み。アイスクリームを食べて頂いた後、職員による出し物となりました。なるこを手にはハッピを着て「よさこいソーランよ

やくらの隣に出店も並びました。射的、風船つりなどが、中でも人気があります。ストラックアウト(的当てゲーム)で祭りの最後まで人



一つ見せずに笑顔で踊る姿が印象的でした。

が絶えませんでした。第二部後半の掛け声がかかると、休まっていた方が集まってみえ、すぐに大きな円となりました。皆疲れ

「つちよれ」は終わりを迎えました。大きな事故もなく無事に過ごされ、皆様大変楽しまれた様子で、大成功と思う夏祭りになりました。



最後に協力いただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

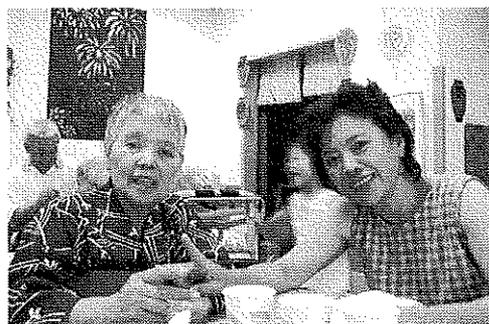
花火が音を立てて上がるたびに皆そろって空を見上げて、歓声が「ワーワー」とあがりました。花火が消えいくようにあつという間に楽しい時間が過ぎ、夏祭りは終わりを迎えました。

夏祭り 初参加!

残暑厳しい中、去る八月二十六日第二大和の里の夏祭りが盛大に開催されました。昨年は悪天候の為屋内での実施となりましたが、本年は、ファミリィ・職員の心がけが良かったのか、午前中に夕立ちがあつたものの夏祭り日和りとなりました。祭り開始の16:00前には続々と家族・ボランティアの皆様が来所され、心待ちにされるファミリィの元へ行かれました。いよいよ夏祭り開始です。開会式の式典も昨年は実現できなかったモニターで映像を各フロアのテレビにて見る事が出来、祭り気分が盛り上がりを持たせてくれました。食事会前には各フロアのリーダーが挨拶を行ない、乾杯の音頭と共に食事



がスタートされました。食事の席は家族単位で座っていただき家族団欒の雰囲気味わつてもらえたのではないかと思います。料理も豊富なメニューより好きな物を選んでいただき充分に味わつてもらえたのではないかと思います。又職員も各テーブルをまわり日頃のファミリィの様子などを話し近況報告を交えながら会話させてもらいました。今回はじめて夏まつりに参加されたファミリィも数名みえて、浴衣に着がえ次に何があるのか、家族はちゃんと来てくれるのか不安を訴えつつもワクワクしながら待つていました。家族が見えると一緒に沢山の御馳走に舌づつみを打つてみえました。お腹がふくれた所で外での盆踊りに参加されました。大きなやぐらと沢山の提灯。他部所ファミリィと



家族・職員。又各方面からのボランティアの多さに圧倒されながらも太鼓・音楽が始まると輪の中にはいり盆踊りを楽しみました。途中でアイスクリームを食べてひと息ついたら後もうひと踊り行なった後は、職員による踊りも披露され存分に楽しめました。最後には打ち上げ花火でしめくり室内に戻つてもしばらくは興奮さめやらぬ様子でした。又準備の段階ではうちわの貼り絵や折り紙を、ファミリィにも手伝つていただき、リビングや廊下をきれいに飾る事ができました。この夏祭りもひとえに、ボランティア会家族会の協力の支えと感謝しております。すでにファミリィの中には来年はこうしたいとの思いも聞かれていました。本当に有難うございました。



訪問介護



大和の里訪問介護事業所は、現在十六名の訪問介護員で活動し、在宅で生活している利用者様の援助を行っています。身体介護では、入浴介助・排泄介助、寝たきりの方であれば、ベッド上での全身清拭・洗髪を行い、一人で通院することが不安な方の通院介助を行ったり、買物に行きたいのだけれど買い物が持つてこれなかったり、足の運びに不安がある方へ買物に同行する援助も行っております。生活援助では、利用者様の体の不自由さで、できにくくなってしまう掃除・調理・買物等の援助を行っています。

平成十八年四月より、特定事業所加算事業所を愛知県より指定を受けました。

算定要件
 〈体制要件〉：計画的に研修を実施し

ているか等。

〈人材要件〉：介護福祉士の割合等

〈重度対応要件〉：当事業所の利用者が要介護四又は五の割合が二十%以上
 この算定要件の、体制要件と重度対応要件に適合しているということで、特定事業所加算(Ⅲ)の認定を受け、利用料に10%の加算をさせて頂いています。今まで以上に、利用者様にサービスに対して満足していただけるよう訪問介護員の技術の向上や対応方法の研修を行っています。

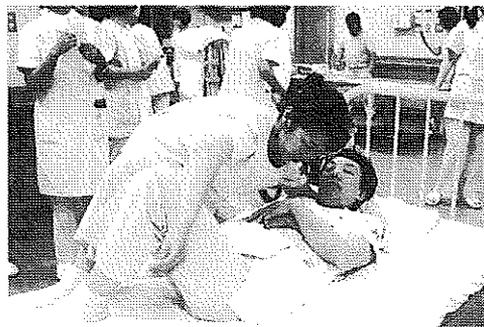
洗髪実習↓四月に、ベッド上で、洗髪セット&シャワーを実際に使用し、訪問介護員同士でモデルになり、技術的な事や手順を確認・指摘し合いながら実習しました。

車いす操作・移乗指導↓六月に、車いす操作に知識のある職員に指導を受けまし



た。車いすのタイヤの押す引くを上手く利用し、利用者様にも、訪問介護員にも体への負担をかけない技術を習得することができました。七月には、介護技術講習としてボディメカニズムを考えた移動方法を学んだり、褥瘡予防の講習を受け、自分が実際にモデルになり、寝たきりの方の身体が移動する実体験をしたり安楽な姿勢を学ぶ事ができ、寝たきりの方が頭を上げた時は、肩を浮かせ背ぬきを行うなど、ちよつとした心配りをする事で介護に効果が出るものだと感じました。

施設内外で、技術講習を受け、十六名の訪問介護員が同じレベルの援助ができるようにし、利用者様が気分よく在宅生活を送ることができるよう訪問介護させていただきたいと思えます。



デイサービスから 「おんがら」

デイサービスには、時折思いがけない来客があり、利用者様にうれしい驚きを届けて下さいます。

今回は、去る七月に来ていただいたうれしいお客様のご紹介をさせていただきます。



二十二日には、歌手の松田敏典様が歌謡ショー慰問で来所してくださいました。歌謡ショーには、デイサービスからも参加されていただき素晴らしい歌声で楽しませていただきました。利用者様からは「やっぱり、プロは違うねえ。」「うまいわあ。」など歌への感想のほか「男前だねえ。」との声も聞かれました。

ショーの後、デイサービスの部屋で利用者様と記念撮影をさせていただきました。プロ

の歌手、若くて男前ということで、女性の利用者を始め男性の利用者様も「ファンになったわ。」と楽しそうに握手や記念撮影をされていました。

次に二十五日には、当施設理事長が後援会という事もあり相撲部屋の東関部屋から三名の若手力士が「大相撲夏場所」で名古屋巡業のため来所して下



さいました。来所された力士の体はとて大きく、始めは利用者様も圧倒されていました。が、力士の方が順々に回っていくと笑顔になり手を出して積極的に握手を求めていました。

どちらの日も普段とは違う機会に利用者様には、良い刺激になったと思います。

今後このような機会を多く持つようにして元気と笑顔の元となつてさらに長寿を目指していただければと思っています。

大和の里野球部

九月二十六日に小牧市民球場にて行われた第十一回愛知県老人福祉施設職員野球大会に出場しました。

小雨混じりの中、大和の里野球部員一丸となって勝利を目指し奮闘しましたが、投手戦の末、0対1と福寿園サンフラワーズに負けました。



平成十三年に創部し、その年の第六回野球大会では準優勝。そのまま優勝を狙えるチームとして突き進むかと思いましたが、翌年の第七回大会の一勝を最後に、四年連続の一回戦負けの状況です。来年こそは屈辱の五連敗にならぬよう、練習に励みまずは一勝を目指します。

医務室だより

高齢者のスキンケア

一、高齢者と褥瘡

褥瘡は体重による圧力（体圧）が一定時間一部位に集中したり、摩擦が繰り返し加わったりすることによって発生します。健康者であれば、寝ている間は寝返りを打って、一晩に20、30回も体の向きを変えると言われています。これは体の一部のみが重みが増えると、無意識に体を動かして痛みや不快感を排除しようとするためです。ところが病気などによって痛みを感じることができない、あるいは痛みを感じても体を自由に動かすことができない場合には、当然寝返りが打てず、一定の部位に圧迫が加わり続けます。このように、持続的に一定の部位に圧迫が加わると、圧力のかかる皮膚には血液が十分に行きわたらず虚血状態に陥ります。さらにこの状態が続くと皮膚組織が壊死してしまい、皮膚は不可逆的ダメージを受けます。病気や加齢のために寝たきりとなった高齢者は、特にこのような状態に陥りやすいのです。

すなわち、褥瘡は高齢者にとって最も重大なスキントラブルと言えます。

二、褥瘡の発生要因と皮膚

圧迫は褥瘡発生の主な要因となります。また褥瘡が発生する人としていない人がいます。それは、皮膚組織耐久性（皮膚の丈夫さ）が個々によって異なるためです。つまり、高齢者の皮膚の状態によって、スキントラブルが発生しやすいかどうかが決まるのです。皮膚の構造は加齢に伴って変化します。そのため、外界からの刺激を受けやすく水分保持が困難になるなど皮膚本来の働きが低下します。これらの理由から高齢者の脆弱な皮膚は、外敵刺激によってトラブルを引き起こしやすいのです。また皮膚の再生能力も低下している為、治療時間を要します。日常的なスキンケアと、排泄物などの外的刺激から皮膚を保護する工夫をすることにより皮膚組織耐久性を維持できま

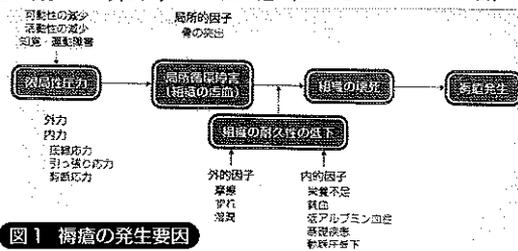


図1 褥瘡の発生要因

三、褥瘡予防のためのスキンケア

(一) 皮膚を観察する

高齢者の皮膚は傷つきやすいため、スキントラブルをできるだけ早期に発見し、適切な対応をしなければなりません。そのためには、観察を行うことがスキンケアの基本となります。

(二) 清潔を保つ

(a) 排泄のケア
褥瘡の好発部位である仙骨部や尾骨部は、尿や便で汚染されやすいため、皮膚はふやけやすく、皮膚が持っているバリア機能が低下します。

(b) 入浴のケア

ア皮膚を清潔に保つには、入浴回数が多いほどよい。また刺激の少ない石けんで優しく洗います。

(c) 爪のケア

伸びてしまった爪で引っ掻くことにより褥瘡に発展します。

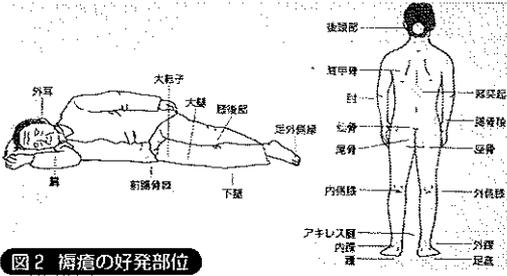


図2 褥瘡の好発部位

厨房だより



☆正しい「食」が健康をつくる

朝ごはん、ちゃんと食べてる？

最近、朝ごはんを食べない人が増えています。しかし、朝食抜きは仕事や勉強の効率が落ち、かえって太りやすい体質をつくりがち。きちんと朝食をとるには、ごはんが何よりというデータも。イキイキとした一日を送るために朝ごはんは元気なスタートを。

一、朝ごはん、必ず食べなきゃいけないの？

眠っている間も人間の体はエネルギーを消費しています。だから朝起きたときは「ガス欠状態」エネルギーの貯金が少なくなり頭も体も活発に動いていません。朝ごはらは体の日覚まし時計といえます。

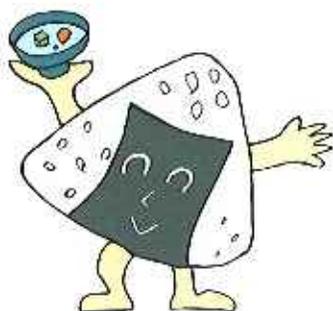


二、朝ごはんは勉強や仕事の集中力アップ!

脳はブドウ糖という、短時間しか蓄えておくことのできない糖質をエネルギー源にしています。朝ごはんを抜くとブドウ糖が不足して血糖値が上がリません。頭の活性化のためにも朝ごはらは食べて出かけましょう。

三、朝ごはんを作り家族の健康を維持

忙しいから食欲がないからと朝ごはんを食べない人が多いようです。今の子供達は、夜遅くまで塾に通ったりして晩ごはんが遅いため朝起きても食欲がなくバタバタと学校へ出かけることも。まず、起きたら水分をとります。おすすめは、おにぎりです。具だくさんのおみそ汁を添えれば栄養バランスも満点です。



☆栄養バランスをあきらめないで

一食を十割とすると次の割合で摂取するのがベストです。

主食：ごはん・パンが二割

主菜：肉・魚が一割

副菜：野菜が二割

汁物・デザート・おやつを含む四割になるのが理想の栄養バランスの目安です。毎食バランスよく摂れなければ一日を合計して達成できるように整えましょう。自分の健康は自分で守るという気持ちで「食」に関心をもってほしいです。間違った習慣や知識はいつかその代償を体に求めます。

「食」について真剣に考える時がきています。皆で栄養を考えて一気に夏バテを解消しましょう。



※御利用者様の顔写真は、すべてご本人の同意をいただいております。